平成29年度　シラバス　授業計画

地理(Geography)

担当教員名	荒川　裕紀
学科，科目詳細	建築学科 1年 後期 一般科目 必修科目 1単位 講義
学習・教育目標	(C)(H)
科目の概要	自然と人間活動との関わりあいについて考察する。それとともに世界の地誌の知識を深めた上で、今日の国際社会が抱える諸問題を地理的な視点で捉え、解決の糸口を考察することを目的とする。
テキスト(参考文献)	『新編　詳解地理B改訂版』二宮書店 『詳解現代地図』二宮書店
履修上の注意	教科書、地図帳を使って授業を進める話した内容に対してメモを取ることを重要視する。自学自習を欠かさず行って、自ら世界地理の興味を持って、世界情勢を考えていくという姿勢で臨んでもらいたい。
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)　1/3以上の欠課 ・期末試験および定期試験70% ・ノート（特に流れの理解のためにメモ欄を重視する）および提出物20% ・夏期レポート10% ・60点以上を合格とする。
連絡先	arakawa@akashi.ac.jp

授業の計画・内容
第1週　現代世界の諸地域・地域の考察方法
第2週　東アジア(1)（中国の気候・工業と広大な経済圏）
第3週　東アジア(2)（朝鮮半島の歩みと文化・韓国の発展と変化）
第4週　東南アジア（モンスーンの影響を受ける環境・文化・民族）
第5週　南アジア（三つに分けられる地形、発展する産業）
第6週　西アジアと中央アジア（乾燥した大地とイスラーム）
第7週　アフリカ（サハラ以北と以南、モノカルチャー）
第8週　中間試験（これまでの学習内容の確認）
第9週　ヨーロッパ(1)（高緯度でも温暖な気候と安定した大地）
第10週 ヨーロッパ(2)（ヨーロッパの多様な産業とこれから）
第11週 アングロアメリカ(1)（移民国家・世界の農業、工業国）
第12週 アングロアメリカ(2)（政治・経済の重要な国として）
第13週 ラテンアメリカ（資源を中心とした工業、大土地所有制と農業）
第14週 民族と宗教（世界の民族・言語そして宗教）
第15週 現代社会の諸問題・民族紛争、民族共生に向けての課題
期末試験